

2022年度第2回関東学連臨時総会議事録

日時: 2021年8月26日

場所: Zoom

文責: 加賀萌起(一橋)

出席: 茨城, お茶, 慶應, 実践女子, 千葉, 筑波, 津田塾, 東京, 理科大, 一橋, 法政, 明治, 横国, 横市, 早稲田, マイナー

委任状: 東工, 日本女子

欠席: 関東学院, 群馬, 相模女子, 中央, 電通, 十文字

議長: 市川竣介(幹事長)

目次

[1 ロングセレ推薦について](#)

[1.1不備①について](#)

[1.2不備②について](#)

[2 情報共有](#)

1 ロングセレ推薦について

市川: ロングセレ推薦に関することで、加盟校の1/4以上の臨時総会招集要請があったため臨時総会を開催します。

内容としては、

①不備について

②再投票を行うかどうか

③再投票について

市川: 特に異議がないのでこの方針で進める。

1.1不備①について

不備 ①「推薦立候補者の所属校に投票権がないこと。ロングセレ推薦規約を確認したところ、これを定める条文はありませんでした。補欠選手と他の立候補者の所属校には投票権があるにもかかわらず、当該選手の所属校に投票権がないことは明らかなる不公平である。ロングセレ推薦規約に則っていない方法によって、行われた投票であり、再投票を行うべきである。」

市川: 総会の承認を得たガイドラインに則って投票は行われた。

八房: 対立する関係校である一橋には投票権がある。これでは恣意的に票の差が生まれてしまうため不備がある。ガイドラインはまだ施行されたばかりの段階であり、ロングセレの規約に則った投票を行うべきである。

樋口: 部内議論で出た意見を共有する。

不備①

- ・第二段階における比較対象の選手の関係校が投票権を持っており、推薦の猪俣さんの所属校である千葉大学が投票権を持っていないことは不公平が生じていると言える。そのため不備であると言える。
- ・投票を行う時点で千葉大学に投票権がないが、補欠選手の所属校に投票権があることはわかっていたはずである。投票が終わったあとに主張するのは遅いのではないか。
- ・投票できなかったのが、千葉大学だけなのであれば、千葉大学の投票を加えた結果を正式なものにすればよいのではないか。

八房: 不備②で上げたように投票自体に不備があると考えているので、千葉大の票を加えただけで正式な投票結果とするのは不適當であると考えている。

市川: まずは不備①についてのみ議論する

三井: 不出走の理由が適切であるかどうかを判断するのは補欠選手がいる大学も含めた全ての学校が決めることである。不出走の理由を認めるかどうかには選手の実績などは関係なく、推薦において対立する大学であったとしても必ずしも否認することはない。実際、今年の男子ロングセレ推薦においては入江選手の推薦理由を東大も承認している。そのため、恣意的な差は生まれないのではないか。

八房: 猪股選手は推薦が認められた場合、過去の実績により高い確率でセレを通過する。そのため、対立校(今回は一橋)が否認することは十分考えられ、恣意的な差が生まれないとは言えない。

川崎: 投票前に市川が規約とガイドラインに則って投票を行うと言っていた。ガイドラインの第三条にある「関係校の投票権は認めない」について千葉大には投票権を認めず一橋に投票権があるのは不適當ではないか。三井が言ったように不出走の理由のみを考慮して投票するのが理想だが、実績など他の要素を考慮して投票することは制度上防ぐことは出来ない。それならば一橋の投票権を認めないか、千葉大の投票権を認めるなどして公平性を保つべきではないか。

三井: 投票するうえで恣意的かどうかを個人の立場から判断するのは投票としていかなものか。恣意的な投票を防ぐためには投票理由を聞くなどすれば良かったのではないか。恣意的になりうるから排除しようという考え方は容易に拡張することが出来る。例えば選手が所属するクラブや、個人的な関係などを考慮しだと恣意的になりうる有権者は多く存在する。そのため、所属校のみを除いた全ての学校に投票権を認めるのが適切ではないか。

八房: 投票制度に不備があるならば投票前に指摘すべきである、というのはその通りであり、渉外として自分の至らない点であった。一橋の投票権を排除するのではなく、千葉大の投票権を認めてほしいという主張である。

浦中: 不備①については納得できます。

不備②については時系列がわからないのでまずは時系列をはっきりさせてほしいです。またとは渉外の不手際ではないか。(部員から)という意見が出ました。

市川: 今まで出た意見をまとめると不備①について、不備があるということとは概ね認められる。不備の解決方法としては両校の投票権を排除するのではなく認める方向が良いのではないか。

三井: 八房の主張も理解できるが、推薦立候補者が所属する学校についてはさすがに恣意性が高すぎるのではないか。他の学校と同列に扱うのは不適切ではないか。また、ガイドラインについて不備があるならばもっと早い段階で主張しておくべきだった。

八房: 先ほど三井が述べていたが、恣意性の高低で票を認めるかどうかを決めてしまうのは先ほどの主張と矛盾しているのではないか。

三井: 恣意性が低いものに対して排除することを拡張してしまうとあまりよくないが、恣意性が高いものに対しては投票権を認めないとするのが良いという主張であり、矛盾はしていないが上手く伝えられていなかった。

また、双方が納得するためにも、投票は理由付きで行うのが良いのではないか。

市川: 不備①について不備かどうかの投票を行う。

賛成: 3 否認: 11 棄権: 1
よって否認とする

1.2 不備②について

市川: 次は不備②についての議論を行う。

不備②

「猪股選手の投票直前にTOEIC受験の必要性についての質問があったが、十分な回答を得ることなく投票が行われたこと。

質問に対する正しい回答を連盟員に周知の上で投票が行われるべきであり、先の投票は適切ではないと考える。」

市川: そもそも、推薦立候補用紙で判断するのが第一であり、その後の質疑応答はあまり重要視していなかった。

八房: 推薦立候補用紙について意見したいのではなく、質疑応答が行われた直後に投票が行われると質疑応答の意味がないのではないか。

浦中: 質問についての時系列はどうなっていたのか。

八房、加賀: 総会において投票の前に質疑応答が行われそのまま投票に移行した。

質疑応答の引用

小島(一橋): TOEICは月一回開催されているが何故セレの日のTOEICを受験しなかったのか

八房(千葉): 詳しいことは分からない。ただ、大学院入試のためにはTOEICを受ける必要があった。

浦中: 質問の趣旨としては何故期間内に回答ができなかったかということ、正確にいうと、本人からの回答ではないことが問題だったのではないかと思います。

市川: 今回の投票は前年度を踏襲しており、そもそも質疑応答を行うつもりはなかった。何か疑問点があった場合解消するための場であり、選手に新たな主張の機会を与えるための場ではなかった。ただ、この点について説明が不十分であったのは申し訳ない。

樋口: 不備②について部内で出た意見の共有

- ・本来推薦立候補用紙には、当該用紙を見ただけで、選手がセレクションをやむおえず欠席した理由を第三者が納得できる要素を記載する必要がある。その上で猪俣選手の推薦立候補用紙について総会で受けた質問はそもそも用紙に記載する必要があった情報であるため、関学の不備ではなく、完璧な推薦立候補用紙を提出できなかった千葉大学の不備であると考える。

- ・猪俣選手の正式な回答を得ることができないまま決議を取ってしまったのは関学の不備である。

- ・総会中の質問に対して千葉大学渉外はよくわからないが、...と曖昧な答えをしていた。質問が来たその時点で猪俣選手に直接確認を取ることや、決議の延期をしてもらうという対応を求めることができたと思う。そのため、結果が出たあとに、質問を正式回答する前に決議が行われてしまったと主張するのはおかしいのではないか。

八房: 浦中の主張に対して、投票する総会において初めて質問を受けたので、その場ですぐに猪俣選手に確認を取るのには難しくどうしようもない。筑波大学で出た意見に対しても同様でその場で回答を得るのは難しい。また、決議の延長についてもそのようなことが出来るというのは規約にはなく、その場で延期の主張をするのは難しい。立候補用紙についても市川や樋口の主張にあるように立候補用紙のみで判断されるため用紙を完璧にしなかったのは千葉大側の不備でありということについても、そのような規約があった覚えはなく、周知もされていなかったため千葉大の不備とされるのは不適當ではないか。

市川: 幹事長としての質問。なぜその場で猪俣選手に対して確認を取るのが難しいのか

八房: 電話をかけたとしても猪俣選手が出るとは限らず、またそのような対処をとっさに取ることも難しいので、猪俣選手にその場で回答を得るとするのは事実上不可能であると考えている。

市川: そもそも、連絡をとろうとはしたのか。

八房: していません。

小野健: そもそも質疑応答の場は設けるつもりはなかったものであり、今重要なのはその場で猪俣選手に連絡を取って回答が得られたかどうかではない。

渉外という立場は関学などの場において自分の大学の意見や利益を主張するものであり、投票する段階において自分の大学の選手について推薦理由をきちんと理解できていないのは渉外としてどうなのか。

決議の延長をその場で主張できなかったことに対して規約になかったことを理由として挙げているが規約はそもそも、全ての事柄についてかかれているものではないので規約にないからというのは理由にならない。

また、推薦立候補用紙についても、規約になく周知されていなかったため用紙を完璧に出来なかったと言っていたが、そもそも、立候補用紙とはそれを読んだ人がそれだけで理由を判断できるようにするのが当然であり、それが出来ていないのはそちら側に非がある。

八房: 立候補用紙に事細かに情報を乗せることができるかどうかは各大学できちんと情報が継承されているかどうかによるのではないか。小野健は立候補用紙を完璧にすることは常識である

と言っていたが、それを知らなかった大学がある以上用紙に書くなどもっと周知すべきではないか。

また、猪股選手が不出走の理由を事細かに記述しなかった理由としては、やむを得ず出走出来なかったことが分かればよいと思っていたため記述しなかった。

井上：立候補用に情報をどの程度乗せるべきかはそのときの状況によるのではないか。例えばコロナにより出走できなかった場合などはあまり事細かに書かなくても他校は不出走の理由を承認してくれたりする場合もあるため、立候補用紙をどの程度詳細にするかというのは選手自身の技量も求められている。

小野健：各大学でどの程度情報が共有されているかはあまり関係がない。実際過去の立候補用紙にどの程度書けばいいか分からないのであれば、関学などの公の場でなくても他団体に聞くなど臨機応変に対応することが出来た。

今回の件についてTOEICを不出走の理由としているがこれだけだと他の学校は、それが本当にやむを得ない理由なのかどうかを判断することが難しかった。

また、TOEICの他の日程など自分に有利となるような情報を猪股選手がわざわざ書かなかったのは甚だ疑問である。

八房：前提としてわざわざ理由を書かなかったのではなくどの程度書けばいいか分からなかったため書かなかったというのが正しい。不備②について立候補用紙について不備があるという主張ではなく、質問があったがそれについて十分な回答がなされないまま投票が行われたことに対する不備である。立候補用紙についての不備は千葉大側にあるというのは事実だが、それゆえに質問がなされたので、それについて十分な回答をしたうえで投票を行ってほしいというのが千葉大の主張。

美濃部：各大学は意見をまとめて総会に来るものであり、質問をしている一橋は意見をまとめ切れていないといえる。ただ、他の大学については質問もなかったため、不備①が認められなかった時点で再投票を行うに至らないと考える（一橋の票を考えても結果が変わらない票差があるため）。

川崎：茨城大学としては投票は規約とガイドラインに則って行われていて、立候補用紙についても本人の責任であるため不備はないと考える。投票において茨城大学は棄権したがそれは一橋と同様の質問があったがそれについて十分な回答が得られなかったためであり、この点について事前に確認出来れば良かった。

加盟員が納得出来るような制度作りが大事である。男子の第二選考ではSlack上で明確な質疑応答の場が与えられており、第一段階についても同様に質疑応答の場が設けられるべきである。今後の推薦で同様な事態を起こさないために、ガイドラインに質問過程を明文化するべきではないか。

市川：第二段階の質疑応答の場というのは選手の主張する場ではなく、あくまで渉外同士が質問する場である。これらの制度について、周知できていなかったのは申し訳ない。

慶

小野慶：再投票を行うというのは各大学でもう一度議論する必要がある大変なものなので、個人の不備ではなく関学に不備があると認められた場合のみ再投票を行ってほしい。また、投票の結果が出てから異議申し立てがあるまでに何故時間がかかったのかを聞きたい。

八房：猪股さんに議事録を共有し、否認された理由を考慮して異議をまとめ、幹事長に事情説明の場を設けられないか確認した。その後、幹事会では認められないという結論となり、議会の招

集という方法を教えてもらったうえで猪股さんに確認をとり、全体に周知する流れとなっていた。このように多くのプロセスがあったうえでの異議申し立てであり、選手本人も院試のため忙しいなど状況があり、時間がかかってしまった。

市川: 幹事会として再投票は認められないが、こちらに明らかな不備がある場合は再投票が認められると伝えた。

市川: 不備②についても投票を行う

賛成:1 否認:13 棄権:1

よって否認とする

市川: 不備①不備②について両方とも認められなかったためこれをもって議論を終了する

市川: 今回出た意見について幹事会などでまた話し合い、まとまったら公表する。

2 情報共有

市川: ロングセレ第二段階の投票についてまだ投票を行っていない加盟校はなるべく早めに投票をお願いします。スプセレについて棄権者が出たため繰り上がりが発生しています。詳しくはSlackを確認してください。また、スプセレ第二段階について幹事会承認後の総会承認をお願いします。